

平成28年度南街・桜が丘地域防災協議会総合防災訓練

東大和市立第二中学校
東大和市立第二小学校防災委員会
南街・桜が丘地域防災協議会
平成28年10月01日

東大和市立第二中学校／第二小学校防災委員会及び南街・桜が丘地域防災協議会に加盟の21団体と合同で、平成28年度総合防災訓練を10月01日に東大和市立第二中学校、第二小学校校内／校庭で北多摩西部消防署、東大和市消防団／第七分団／女性消防団「なでしこ」、東大和市防災安全課／市民生活課、東大和市社会福祉協議会、東大和市高齢者ほっと支援センターなんがいの各機関／団体及び第二小学校／第二中学校の教諭、両校PTA、第二中学校生のボランティア、都立東大和高校の教諭／生徒の皆様のご協力より実施致しました。尚本訓練には東大和市議員の皆様のご参加もあり本紙にて改めて御礼申し上げます。訓練内容は以下の報告の通りです。

A. 第一部；第二小学校及び第二中学校での防災訓練（AM8.00～9.30）

この訓練は震災時避難所に指定されている第二中学校及び第二小学校を、避難所として安全に使用出来るか点検する目的で実施する訓練で、昨年度から第一部の訓練は第二中学校及び第二小学校を同日／同時刻に実地する事になり、

- 第二中学校；第二中学校教員／PTA、南街・桜が丘地域防災協議会加入の自治会の防災担当者、都立東大和高校教員／生徒の皆様
- 第二小学校；第二小学校の防災委員、第二小学校職員、第二小学校PTA及び南街・桜が丘地域防災協議会加入の自治会／管理組合の防災担当者

の皆様が集合し、復旧班による学校内の各校舎及び校舎外全体の破損状況（現状の改善必要事項）の確認作業、救急班による救急救命及び誘導班による避難者の誘導シミュレーション作業を実施致しました。

訓練終了後反省会を開催し、今後の活動に向けての改善点の意見交換を実施しました。
(反省会の議事録は別途発行します)

1. 第二中学校の部

参加者正門前に集合



窪田会長から訓練主旨説明



開錠する体育館のドアの開錠方法説明



説明を聞く参加者



防災仮本部設置及び点検手順説明



各班の点検状況



各班の点検結果報告状況



2. 第二小学校の部

防災協議会；大月による通用門の開錠



校舎の開錠



防災仮本部に関係者の集合／訓練説明／反省会状況



B. 第二部;体験型防災訓練(南街・桜が丘地域防災協議会防災訓練)(AM9.40~12.00)

第二中学校/第二小学校の避難所被災状況確認防災訓練に引き続き、第二小学校/第二中学校教諭/PTA、東大和高校教諭/生徒を含めての地域全体で体験型の総合防災訓練を実施しましたが、当日は天候が不安定な事もあり、雨天バージョンの訓練を採用し、第二小学の体育館内で実施しました。

今回訓練には訓練関係者を含め約300名の参加があり、参加者は4班に分れ下記の各訓練を体験致しました。

- ◎ 車椅子操作訓練(東大和市社会福祉協議会)
- ◎ 応急処置訓練(東大和市消防団)
- ◎ 緊急通報訓練(北多摩西部消防署)
- ◎ 避難所体験訓練(東大和市社会福祉協議会)

これら訓練の他に下記の訓練及び広報活動も行いました。

- 防災協議会活動状況説明(女性班「たんぽぽ」)

活動パネル報告/ダンボール簡易トイレ制作方法説明

- 防災協議会保管の各種防災機器展示(防災協議会)
- 非常食の炊き出し練(防災協議会、第二小学校PTA)
- マンホールトイレの展示(防災安全課)
- 大和会地域支援センターの広報

これら訓練は各機関/団体の皆様にご指導により、所定の成果を挙げる事が出来ました。ご協力を戴いた皆様に本紙にて改めて御礼申し上げます。

開会式の様子



市防災安全課長;東様



椎野本部長挨拶



高田副本部長
訓練内容説明



プラカードを先頭に自治会/管理組合毎に整列



各種訓練状況報告

開会式終了後各班別に体験型訓練を開始しました。



作業内容説明状況



指示に従い作業中



お米の入ったポリ袋を煮ている状況



非常時に役立つ

ポリ袋で作るごはん

材料（4人分）
米 2 合
水 2 カップ
ポリ袋 4 枚

準備

米を4つに分ける
ポリ袋に米と水を入れ
15～30分ひたす

① ポリ袋の空気を
しっかりと抜き 上の方を縛る
袋の中は 平らにする



② 沸騰した湯の中に ①を入れて30分間 煮る



鍋に入れるとき
袋の口を縛った後
箸や棒につるして
鍋に入れる
(輪ゴム・ひも)

③ 30分経過したら火を止め
10分ほど蒸らして出来上がり

④ 出来上がったら お好みのごはんの友で 召し上がれ

限られた道具で衛生的 &
エコに作る調理方法

一口メモ

米は洗わなくても } かまわない
無洗米でなくても

(1人分)
米 (0.5合) 水 (200cc)
米と水の分量 ... 同体積でよい

米 1 合は 約 150g
水 1 カップ 200cc

ポイント

○鍋底や鍋肌にポリ袋が触れると
袋が溶けることがあるので
ここでは、つるしました。

○つるせない時は、鍋底に皿を入
れてから湯をわかしたり、袋を
二重にすると良い

ツイッターが・・・

水・米・鍋・火があるなら、
初めから炊けば～ ごもつとも(マ)でも、水の節約 エコです 鍋の水は
川の水でも OK!!
食器等、洗う水も最小限で済みます。

防災機器 展示



防災協議会が保有する防災機器の一部



防災安全課が説明

マンホール トイレ展示



都立東大和高校生が製作したダンボールトイレ



大和会地域包括支援センター関連資料展示

高齢者ほっと支援センターとは？

- ・東大和市の委託事業で、地域の高齢者の方の医療・介護についての身近な相談窓口です。
- ・センターには、社会福祉士・生活ケアマネジャー・保健師の専門職がいます。
- ・市内には、「いもくぼ」きよはら「なんがいの」3か所のほっと支援センターがあります。
- ・業務が難しい場合は、センターの職員がご自宅へ訪問します。
- ・2025年以降の超高齢社会に向けて、市区や地域の方たちとともに、高齢者に住みよけづくりを行っている革新的な役割を担っています。
- ・事業内容について年報を配布しておりますので、ご自由にお持ちください。

高齢者見守りほっこすとは？

- ・東大和市の委託事業で、高齢者の在宅生活の安心を確保するための高齢者の見守り支援を専門とした相談窓口です。
- ・市内には「ならはし」「しんぼり」「なんがいの」3か所の見守りほっこすがあります。
- ・戸別訪問や電話連絡を行い、在宅高齢者の生活状況の把握・見守りを行います。
- ・民生委員や自治会・社会福祉協議会等と連携し、ひとり暮らし等の見守り支援を行います。
- ・ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、日中独居の高齢者に民間緊急通報システムの利用を推奨し、在宅生活の安心を提供します。

地域とのつながり

- ・ほっと支援センター・なんがいのほっと支援センターは、災害時ボランティアセンター登録・運営協議会に参加し、災害時の地域の横のつながりについて協力する関係性を築いています。
- ・南面・桜が丘地域防災協議会の年々回の報告に参加させて頂き、また、防災訓練の行事にご協力参加し、災害時に地域の方々とスムーズな協力関係を築けるようにしています。



大和会 災害訓練

- ・ほっと支援センター・なんがいのほっと支援センターは災害拠点病院に指定されており、年1回市役所・警察・消防・自治会等と一緒に大規模な災害訓練(災害時ボランティア訓練)を行っています。



高齢者つな支援センター
なんがいの
見守りほっこす
ご自由にお持ちください



南街・桜が丘地域防災協議会活動報告資料揭示

継続することの大切さ

食品の放射線測定 (簡易検査)



南街・桜が丘地域の空間放射線量の測定結果

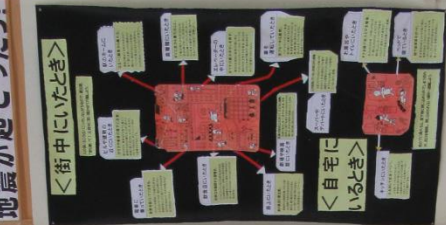


南街・桜が丘地域防災協議会

「たんぽぽ」の発表



こんなときに 地震が起ったら?





女性班「たんぽぽ」活動状況説明



ダンボールトイレ製作説明及び完成品展示



本日の避難所体験には
東大和市社会福祉協議会
東大和市高齢者ほつと支援センターなんがい
東大和市高齢者見守りぼくすなんがい
みなさまに応援に入ってください。
ありがとうございます。
南街・桜が丘地域防災協議会



紙芝居による避難所生活の説明



起き上がり支援方法の実技



毛布ガウン着付け方法の実技



4. タオルケットや毛布を使ったガウン

寒いとき、からだ全体を包み込んで保温することができます。

①着物を着付ける要領で、
下半身を包み、紐等で止める。

②上半身を覆い、
襟元と袖口を整える。



車椅子 訓練

基本操作方法の説明



参加者による実技状況



緊急通報 訓練



応急救護
AED操作
救急救命



心肺蘇生手順の説明



AEDの取り扱いの説明及び参加者による実技



三角巾の使用法説明



閉会式情况

北多摩西部消防署署長；野崎様



野崎様から本訓練の総評をして戴きました。

たまちゃん
の紹介

